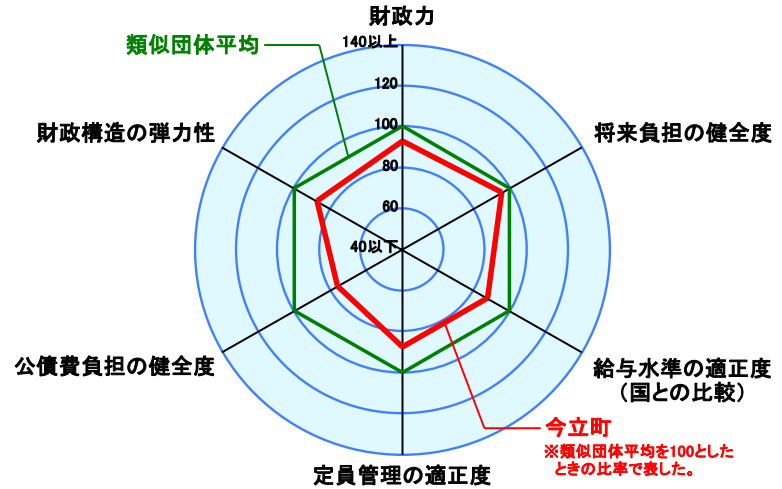
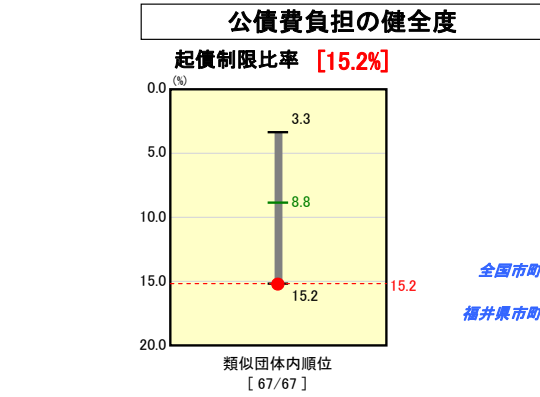
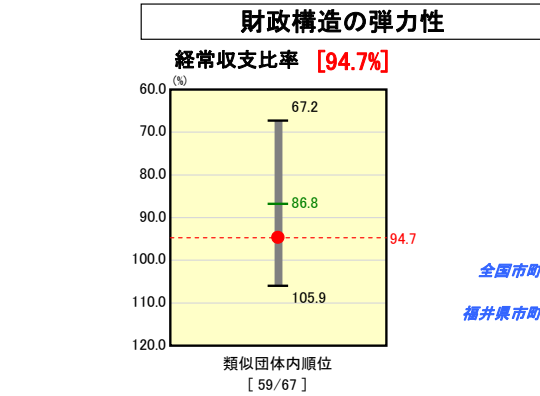
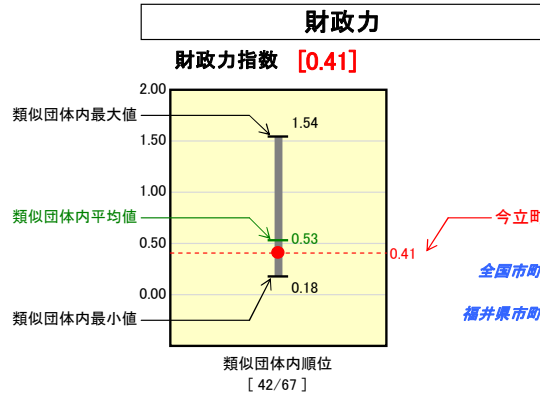


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福井県 今立町

人口	13,737人(H17.3.31現在)
面積	45.43 km ²
歳入総額	6,047,897千円
歳出総額	5,752,803千円
実質収支	288,671千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

※平成17年10月1日に、旧武生市と合併し、越前市となった。

- 財政力指数**
長引く不況による町内産業の低迷や個人所得の減等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。平成12年度に作成した中長期財政計画に基づき、職員数の削減、保育所の統廃合・民営化、補助金・助成金の削減等、歳出の徹底的な見直しを図る等行財政の効率化に努めてきた。
- 経常収支比率**
景気低迷による地方税の減少、地方交付税の増替である臨時財政対策債の減等の経常一般財源の減、歳出面では扶助費、補助費の増等により平成16年度は94.7%と高くなった。今後は合併を機に、組織の見直しや施設合理化等により、経常経費の削減に努めていく必要がある。
- 起債制限比率**
昭和63年のふるさと創生以降の積極的な地方単独事業への取組みによりその償還額が増高してきている。平成12年度の中長期財政計画策定以降、建設事業債の抑制に努めてきた結果、単年度起債制限比率は平成16年度をピークに今後減少していく見込である。
- 人口1人当たり地方債現在高**
ふるさと創生以降、起債残高は増高したが、平成12年度の中長期財政計画策定以降起債残高は減少してきており、人口1人当たり残高も減少してきている。
- ラスパイレス指数**
旧来からの給与体系により、グループ平均を上回る97.7となっている。人件費の縮減は、財政の中長期展望に示される歳出改革の概半分程度をカバーすると位置づけられており、今後は、年功的な要素が強い給料の運用について改める。今後は新越前市として、行財政改革における集中改革プランに基づき人件費の削減に取り組む。
- 人口1,000人当たり職員数**
伝統工芸「越前和紙」の活用による伝統文化としての産業育成事業、企業誘致事業など、積極的な施策の展開に人員が必要であったため、類似団体平均を上回っている。今後は新越前市として、定員適正化計画に基づき、定年前早期希望退職者の募集等により、10年間で定数の100人削減を目標とする。

